みいけ主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目 三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033・7140 炭鉱 474・528
※責任者＝文教部長 川畑信子

弱音は吐かない

新港分会で主婦の座談会

賃金引下げの実態

司会 夫たちが就労してはや二カ月になろうとしています。会社は、やれ一万トン突破とか、出炭良好とか盛んにアピールしていますが、職場で夫たちがどんなにひどい差別をうけているか労働強化を強いられているかは報道されません。一月十五日には就労後はじめての給料としてまだ分割払いのため七〇%をうけたのですが、闘争前と比べてずっと少なくなったでしょう。

○夫の職場は元は坑外でしたがこんど坑内の一般機械にやられました。坑外から坑内だから、あまり違わないと思っていましたが、受けてびっくりしました。もし坑外にいたとすれば、もっと差がひどいでしょう。小、中、高と、子供が学校ですが、やりくりを考えています。

○私のところは採炭で、以前は二十六方も出れば五万円ほどにはなっていた。それが今月は二十六方出て三万五千円でした。高校にも二人出しているので大変です。

○うちは坑内機械で精一杯出ましたが四千円少なかった。でも他の方に比べると差が少ない方でしょうね。

○うちは運搬ですが、八千円も少なかった。仕事はうんときつくてカネにならないそうですからね。

○私のところは充填ですが、少ないのにびっくりしました。母を他所にあづけているがお金を送られないので、私が内職をさがしています。

○うちは坑外で勤続二十二年になります。五人家族でいままでは二万二千円位受けておったのが今月は一万七千円でした。三女が病気で二回仕事してもらったら、特効薬を使ったとかで千何百円か引かれていました。

○うちは坑外倉庫で、以前は日曜出勤や残業して二万四、五千円だったのが、今月は一万円ありませんでした。

司会 最近、三月決戦ということが合言葉みたいになりましたがこの問題に対処するために必要なことをどうぞ―

○会社は、組合は三月決戦といっているが、そういうことは考えていない、といっているようですね。

○こちらの体勢がピーンと張っていれば、会社は出しきらんでしょう。こちら次第だと思います

○出してきても内容が違ってくると思いますが。

○いまの組織を絶対に割らないことですね。

○会社は、組織切崩しはいまだとばかり現場での差別やイヤがらせに加えて、いろいろな手を用いています。新港分会にも「あなたはねらわれている」などと書いた脅迫の手紙が来ました。差出人は三池労組員だったり、隣の人だとか。全くやり方が卑劣です。

○そのことについては「渉務局に訴えるから、手紙の来た方は申し出て下さい」と、マイクで全社宅に放送したら、それから来なくなりました。

○そんなものが来ても負けないために学習が必要になってきますね。

○各支部交流情宣など一度やってほしいですね。

○給料が安くなったので、社宅で内職を計画しています。主婦会で取り上げて県の方にあっ旋してもらいます。政治局の方とも相談して家庭で出来るものをやれば、主婦会の活動にも支障を来たさないと思います。たとえば、今日は主婦会の行事があるから内職は一日中止しようということも出来ますし……。

○新港社宅はさいわい海岸ですから、つりをしたり、のりをとったりして、生活の足しにしようと、つめたい海に出かけます。

○夫といつも話しますが、資金カンパで生活していたころを思って、我慢しようといっています。

○全国の方々にあんなに支援されて闘ってきて、いま弱音を出せるかと子供たちとも話し合っています。（このほか差別、労働強化、法延闘争も話合われたが紙面の都合で割愛しました）

お互いに助け合うのだと情宣に聞きいる主婦たち

〝減税はどうなるか〟

大企業にタップリ

さる十九日発表された三十六年度予算の政府原案は、池田内閣の一枚看板〝所得倍増〟計画案のようなもの。ところでこの予算で政策がすすめられた場合、果して国民生活はバラ色の夢につつまれるだろうか―わが家の家計と密接につながる新政策の〝減税〟案をどりあげてみよう。

タブラカシの減税

▽…予算案の減税額は昭和三十六年度に七八八億円。池田内閣が成立以来公約していた一千億円以上よりは、かなり下回った額である。だが所得税分は一月から実施されるから、今月の給料はチョッピリ重くなる勘定だ。ではどれだけ重くなるかを「改正案」でみるとつぎのようになる。

▽…配偶者控除が新設されて、従来の扶養控除七万円が九万円に、また従来の扶養控除二人目からの三万円が満十五歳以上の子供に限り一人五万に引き上げられる。このほか給与所得控除として一万円が定額控除されるので、以上を給与収入から差し引いた残りについて年額四十万円まで二〇%、四十万円以上に対し一〇%（最高額十二万円）税金がかかる。この結果を月々の給料で算出してみると、月額三万円の給与所得のある者で妻と子供二人がある場合には七百二十円（現行千十四円）で二百九十四円だけ安くなる。独身者の場合には三百九円安くなって千五百八十円（現行千八百八十九円）となる。

▽…妻帯者の場合、月に約三百円収入増になるのは大きい、と喜ぶのは早計だ。昨年から続いている物価値上げによって生活費は月に三千円の支出増になっており、四月から値上げが確定的な鉄道運賃、郵便料金を加えると、池田新政策の減税はまるで中身のない、タブラカシなものであることがわかる。例えば鉄道運賃であるが、定期代の平均賃金にしめる割合いは四―四・三%だからたいしたことはないと国鉄はいっている。だが、現在七百円区間の通勤者は千八百円となり、減税分の三百円は軽くとんでしまう。となると郵便料金や電気料、クリーニング代、理髪料金などの値上がり分はそのまま家計の赤字となるのである。〝泰山鳴動してねずみ一匹〟ということわざがあるが、新政策の〝減税〟案はまさにそのことわざ通りといえるだろう。

国民の目を欺くカラクリ

▼…一兆九千五百二十七億円という空前のタップリ予算を組みながら、ではなぜ減税分がこんなにも少くないのだろうか。減税案の内訳をもう少しつっこんでみよう。総額で六百八十八億円とはいいながら、このうち法人税が二百八十八億、通行税その他が十億円含まれており、約三百億円がさらに減るから、残るのはわずかに三百八十八億円。これでは少いのは当然のことだろう。減税分の約半額は「企業の資本充実促進」（改正案大綱）するために資本家のフトコロに回転させられてしまったのである。勤労者にはわずか三百円しか返さぬのに、資本家にはその幾百倍もの利益を保障しようというこれが〝所得倍増〟予算案の骨組みである。〝減税〟案のうちの「配当課税の改正」点によると、配当に対する法人税率は一〇%引下げ個人株主の受取配当の配当控除率も五%引下げ、機械設備の耐用年度の平均二〇%短縮などなど、資本家は十年はおろか、ことし一年で〝所得倍増〟になりそうな仕組みになっている。

▼…こんどの〝減税〟案は税制調査会（会長中山伊知郎）の答申によったという建前をとって、公正をみせかけようとしている。だが実際は総額で九十億円ほど下回っているだけではなく、答申が行なわれた段階から約千億もの財源がふえたのにもかかわらず、その千億をほほかむりしてしまっていることである。池田内閣が実のある〝減税〟案をつくって、国民の生活を向上させようというのであれば、その分も減税財源にすべきなのである。また答申では税金の負担率は国民所得の二〇%内にとどめるべきであるといっているのに予算案では二一%高く、金額にして千五百億が増税される。四百億円弱の減税で国民の目をあざむきながら、その数倍も増税する。それが池田新政策の〝減税〟案である。

すべての婦人と手を つなぎ安保体制打破

婦人月間活動目標きまる

第八回婦人月間は、今年も来る三月八日からはじまるが、総評、中立系労組、婦人団体などで結成している婦人月間実行委員会（会長小本まき子氏）では、このほど中心スローガンと活動目標をつぎのように決定した。

中心スローガンは〝戦争と失業と貧乏をなくすため、すべての婦人は手をつなぎ、安保体制を崩しましょう〟〝世界の婦人と手をつなぎ、平和共存、民族独立、完全軍縮をかちとりましょう〟となっている。このほかに働らく婦人の母胎保護、同一労働同一賃金の獲得、小児マヒの予防、治療を国の責任で実施せよ、運賃、郵便、電気など公共料金の値上げ反対、教育基本法をまもり義務教育費の全額を国庫負担にせよなどを統一目標としてあわせかかげている。

また、月間中の行事としては、「国際婦人デー中央大会を三月八日杉並公会堂（予定）で、「第六回働らく婦人の中央集会」は四月十六、七の両日、東京で開催することになった。この集会は、「生活と権利」「平和と団結」のテーマにわかれ、分科会での討論がくまれる。とくに、特別分科会として社外工、臨時工、職業病、内職問題、失業問題などが設置されることは注目されている。

実行委員会では、月間に先だち、二月中旬、婦人月間のための全国代表者会議を東京で開くことにしている。

公共料金値上げ反対

消団連 全国的に運動展開

全国消費者団体連絡会（消団連＝総評、主婦連、日本生活協同組合連合会、婦人民主クラブなどで組織）は一月九日、東京・芝の本部で緊急拡大幹事会を開き、国鉄運賃、郵便料金など公共料金の値上げ反対運動を全国的に展開することをきめるとともに声明を発表、政府はじめ各政党に要望書を出した。

反対運動は労組、民主団体、農業団体、婦人団体などの諸団体によびかけ値上げ反対請願署名を全国の街頭、地域、職場でくりひろげるのを中心に行ない、これと並行して一月十七日に「物価値上げ反対懇談会」、二十三日には「物価研究集会」、さらに二月中ごろには全国代表者会議を開いて運動の啓もう、拡大をすすめ行く方針である。なお各大学生協は九日から都内各駅頭で署名運動にはいった。

▲声明（要旨）＝今回の国鉄運賃郵便料金の大幅値上げ案は更に私鉄運賃、電気料金等公共料金の全般的値上げとあいついで、あらゆる物価にきわめて多大な影響をおよぼすものであるが、このように所得倍増どころか物価倍増が先行していることに対して、全国民の憤激は非常に高まっている。池田内閣は特にその公約よりして本年度予算案審議にあたり、この全国民の憤激の声を卒直にきき、これら公共料金値上げをやめさせる責任を負うべきである。われわれ消費者団体は更にこれら公共料金の値上げ反対運動を全国民に訴えつよい世論を動かしてあくまでこの暴挙を阻止するものである

△私たちの本棚▽

若き僚友の死

向坂逸郎 著

身辺に少し静かな時間があったら、私はこの本を読むようにおすすめします。

向坂さんの随筆やエッセイには定評があって、私も長年それにしたしんできましたが、この本は、向坂さんのいわば「思想と人生」の書だという感じがします。

向坂さんは「この文集には、多くはなごやかな気持で書かれたものが多い」とあとがきにしるしていますが、「なごやかといっても歴史の流れと無関係のもの」ではないとも言っています。それは著者の立っている足場と、社会に対する著者の姿勢のゆえにそういえるのであって、著者は自分の主義と信条について、淡々と、あるいはおのずとにじみ出るように語っています。とにかく読んでたのしく、考えることの多い本です。

向坂さんについては、敵味方のなかで、偏見にみちたある種の神話が行渡っています。「アカの巨頭向坂を消せ」というビラが三池の闘争中に大牟田で撒かれたそうですが、そういうビラを撒く殺し屋さんたちも、「向坂を消す」前に、ぜひこの本を読むようにおすすめします。心の扉をひらいて読めば、「歴史の中に生きる」ということが具体的にはどういうことであるか、「向坂を消す」ことがどんな意味を持っているかもよく分るはずです。

向坂さんはまた「階級闘争至上主義」とか「コチコチのマルクシスト」と非難されます。向坂さんはたしかに主義においてガンコであり「マルクス」という「オールド・ファッション」を身につけていることをかくさない。しかし向坂さんを敬遠するのは、労資の協調主義者か小器用な戦術家たちで彼じしんに主義も思想も運動上の原則さえもない場合が多いのではないでしょうか。この本の何章かを読むとそのことがよく分ります。

向坂さんは社会主義の理論は実践に移されなければ結実しないといいます。向坂さんはまた、日本共産党のいわゆる挫折にふれて、「この党の運動の在り方に、人間として無理があったと思う」と述べ、また学生運動について、単に純真であるというだけでは、その運動の正否をきめるのは単純にすぎる、「その運動が歴史の潮流に向っているか、歴史の車を逆におす方向にあるかが、決定的な問題である」と述べています。このようにいう向坂さんの思想は柔軟で運動についての透徹した理解がそこにあるように思われます。

（労働ニュース 木原 実）

【おねがい】いぜん「私たちの本だな」をこの欄につづけていましたが、再度つづけることにしました。学習をやる上に、また私たちが人間としての成長のためにも、私たちはいろいろの本を読んでいます。ここでは専門家の書評ではなく、自分が読んだ本の中から、ぜひこの本は仲間にも読んでもらいたいとか、強く感動されたなど、いろいろのものがあると思います。そういう本の紹介でもよし、批評でも感想でもよいから、皆さんが読んだ本の中から選んで投稿されるよう、とくに協力をおねがいします。